



Title	大阪公衆衛生 第88号 編集後記／奥付／裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪公衆衛生. 2017, 88
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/78662">https://hdl.handle.net/11094/78662</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 編集後記

平成28年4月14日と16日に発生しました熊本地震は2回目のゆれが本震となる想定外の災害となり、甚大な被害をもたらしました。関係者の皆様にはお悔やみ申し上げます。大阪から多くの保健医療福祉関係者が災害地派遣で支援に行きました。このたび平成29年1月27日に当協会成人保健部会では大阪府との共催で「熊本地震の派遣支援活動報告と課題とこれから」というテーマで支援に行かれた関係者から公衆衛生分野における取組みを報告していただく研修会を開催しました。〈特集〉ではその内容を集約しております。東日本大震災では想定外といった言葉が記憶に新しいところですが、今後、近未来に発生するといわれている災害に向けて学ぶべきこと多くあると感じているところです。これまでの災害を踏まえた公衆衛生分野での支援体制や受援体制の整備についてさらなる強化が図られることを期待します。〈トピックス〉では今年で母子保健法が施行されて50年が経過した節目の年でもあり、佐藤先生に今後の展望を含め総括していただいております。また、〈巻頭言〉では20年ぶりに日本公衆衛生学会が大阪で開催されたこともあり、ここでの歴史を振り返り、こちらも大阪の公衆衛生の将来展望のために高鳥毛先生に寄稿いただきました。どちらともここでしかお目にかかることのないへん貴重な内容となりました。〈施設紹介〉では府立成人病センターが、平成29年3月に移転し、名称変更もされた「大阪国際がんセンター」のご紹介です。そのほか、若手の会員さんに寄稿いただいた〈会員の声〉ですが今回はベテラン会員からの報告などとなっており取り組みの参考となればと考えております。今回もお忙しい中、掲載のためにご執筆やご協力いただきました皆さん方に厚くお礼申し上げます。

(出版編集室長 大原俊剛)

### ※ 出版編集室メンバー ※

室 長	大 原 俊 剛	(大阪府)
幹 事	久 保 弘 美	(大阪府)
幹 事	田 中 さおり	(大阪市)
幹 事	淡 路 順 子	(堺 市)
幹 事	北 尾 光 裕	(東大阪市)
幹 事	河 邊 正 英	(高槻市)
事 務 局	井 戸 武 實	(協 会)

## 大阪公衆衛生88号

発 行 平成29年2月

発行者 南波正宗

編集責任 公益財団法人 大阪公衆衛生協会出版編集室

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目3番1号 双馬ビル4階404

TEL (06)6948-5917 FAX (06)6948-5927

印 刷 (株) ショーアート TEL (06)6967-0811

公益財団法人 大阪公衆衛生協会



# 結核感染診断補助にクオンティフェロン<sup>®</sup>製品

体外診断用医薬品

## クオンティフェロン<sup>®</sup>TB ゴールド

製造販売承認番号：22100AM100003000

管理医療機器

## クオンティフェロン<sup>®</sup>TB ゴールド用採血管

医療機器認証番号：220AABZ100144000

## クオンティフェロン<sup>®</sup>IFN- $\gamma$ コントロールパック



### 【重要な基本的注意】

- 本検査は、細胞性免疫応答を利用した検査であり、HIV 感染、AIDS、免疫系低下の可能性のある疾患、免疫抑制剤等により免疫抑制されている被検者では、本検査結果が偽陰性を示すことが考えられるので、判定に注意すること。  
また、血液検体の不適切な取扱い、試験操作の間違いにより、偽陰性となることがある（【測定結果の判定法】4. 判定上の注意の項参照）。
- 本検査の結果が陽性の場合であっても、被検者の病歴、臨床所見に基づいて、総合的に判断すること。  
不適切な試験操作により偽陽性となることがある（【測定結果の判定法】4. 判定上の注意の項参照）。
- 本検査は結核感染の診断補助であり、診断は他の関連する所見に基づき医師により総合的に行うこと。

### 【使用目的】

全血の結核菌特異蛋白との共培養による遊離インターフェロン- $\gamma$  の測定

- 活動性結核の診断補助  
X線所見や喀痰塗抹標本で結核を確定できず、他の臨床所見等で、結核を疑う者
- 潜在結核の診断補助  
(1) 接触者健康診断として、集団発生の際の感染性結核患者との接触者  
(2) 感染性結核患者との接觸機会の多い医療従事者

● その他の使用上の注意については添付文書をご参照ください。

Trademarks: QIAGEN<sup>®</sup> (QIAGEN Group). 本文に記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。  
QFT\_TB Gold0116XZJ 2016年01月作成 © 2016 QIAGEN, all rights reserved.

### 【お問い合わせ先】

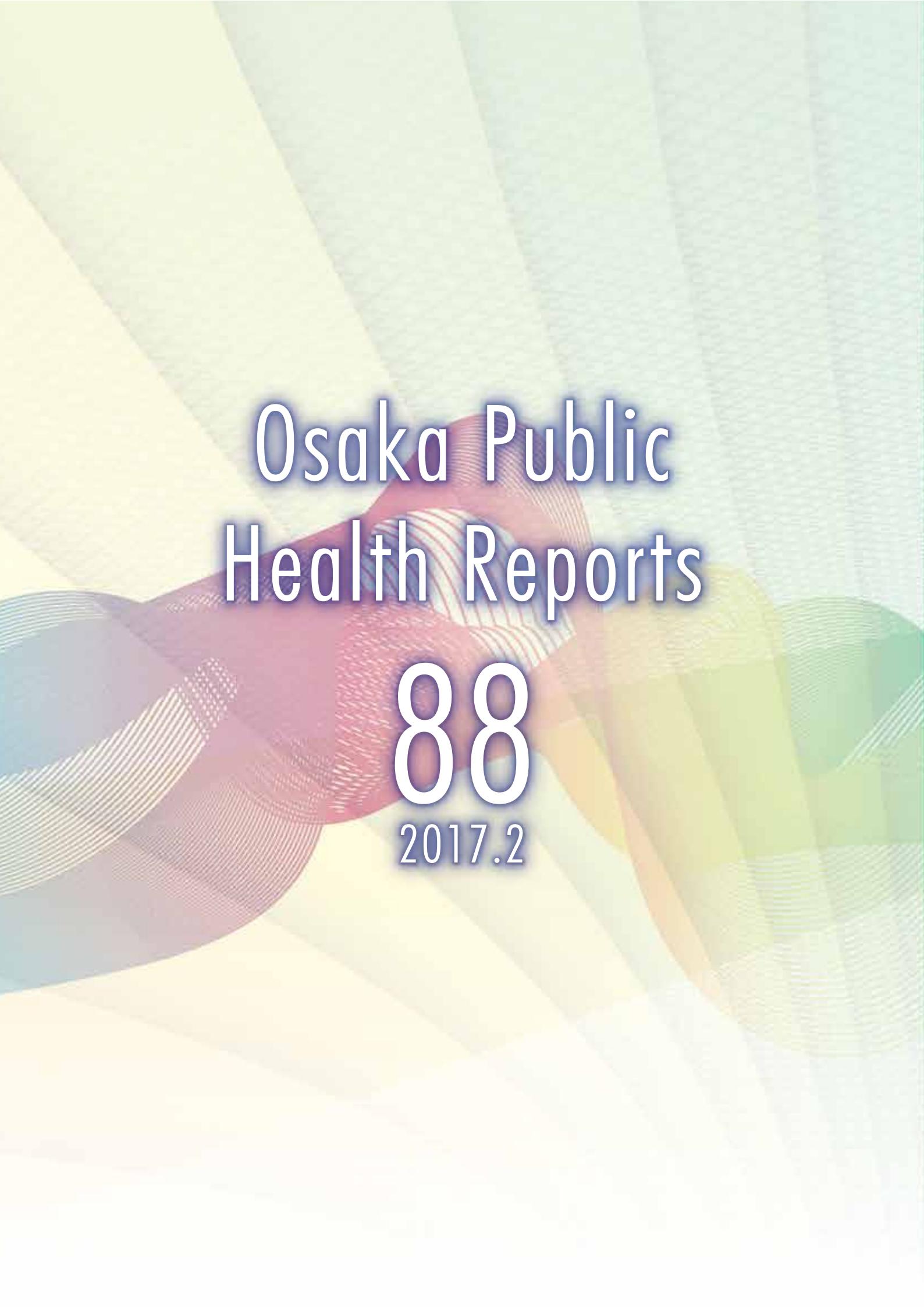
株式会社 キアゲン カスタマーサポート  
〒 104-0054 | 東京都中央区勝どき 3-13-1 | Forefront Tower II  
Tel:03-6890-7300 | Fax:03-5547-0818



### 【選任製造販売業者】

株式会社 キアゲン  
〒 104-0054 | 東京都中央区勝どき 3-13-1 | Forefront Tower II  
Tel:03-6890-7300 | Fax:03-5547-0818

— QIAGEN QUALITY QFT —

The background of the cover features a dynamic, abstract design composed of several overlapping bands of color. These bands are rendered with a fine, horizontal hatching or dot pattern, giving them a textured, woven appearance. The colors transition smoothly from left to right, starting with a light blue/purple on the far left, followed by red, orange, yellow, and finally green on the far right. The bands are slightly curved and overlap each other, creating a sense of depth and movement.

# Osaka Public Health Reports

88  
2017.2